

令和四年度

事業報告書

「忠恕・敬愛・感謝」

目 次

I 総務課	1
II 事業部	2
〔1〕 各種委員会・会議等	2
〔2〕 研修	3
1. 外部研修	3
2. 内部研修	3
〔3〕 年間行事	3
〔4〕 アクティビティ	4
〔5〕 実習・見学等	8
1. 実習・見学受け入れ	8
2. 一般の見学	8
〔6〕 ボランティア	8
〔7〕 医務室	8
〔8〕 栄養	10
〔9〕 特別養護老人ホーム	11
1. 在籍	11
2. 退居	12
3. 新規入居	12
4. 入居申し込みと待機者状況	13
5. 入院実績	13
6. 要介護度推移	14
7. 平均年齢推移	14
8. 収入段階、利用料	14
9. 外出	14
10. 外泊	14
11. 面会	14
12. 相談員の業務を振り返って	15
13. その他	15
14. 介護支援専門員の業務を振り返って	15
15. 介護	16
〔10〕 デイサービス	19
〔11〕 ショートステイ	20
〔12〕 居宅介護支援事業所	20

1. 総務課

〔1〕 【自衛消防訓練等】

1. 第1回目

日 時 令和4年5月17日 午後3時30分から午後4時30分
内 容 総合訓練（避難・消火・夜間想定）
参加人数 約19名（職員・入居者・利用者）
届出関係 川越消防署届出

2. 第2回目

日 時 令和4年6月22日 午後3時30分から午後4時30分
内 容 総合訓練（避難・消火・夜間想定）
参加人数 約29名（職員・入居者・利用者）
届出関係 川越消防署届出

〔2〕 【職員健康診断】

1. 第1回目

日 時 令和4年8月24日・25日 午前9時から午後0時
内 容 特定業務従事者健康診断（夜勤者）
受診人数 81名
協力病院 医療法人社団清心会 至聖病院
健診内容 既往歴・業務歴・自覚症状・他覚症状・身長・体重・腹囲・視力・
聴力・胸部X線撮影・血圧測定・貧血検査・肝機能検査・血中脂
質検査・血糖検査・尿検査・心電図検査

2. 第2回目

日 時 令和5年2月20日 午前9時から午後0時
内 容 特定業務従事者健康診断（夜勤者）
受診人数 50名
協力病院 医療法人社団清心会 至聖病院
健診内容 既往歴・業務歴・自覚症状・他覚症状・身長・体重・腹囲・視力・
聴力・胸部X線撮影・血圧測定・貧血検査・肝機能検査・血中脂
質検査・血糖検査・尿検査・心電図検査

3. ストレスチェック

日 時 令和4年10月
内 容 全職員対象
受診人数 78名
協力病院 医療法人社団清心会 至聖病院

Ⅱ 事業部

〔1〕各種委員会・会議等

1. 入居検討委員会

申込者に対しての検討を適正に行い、概ね待機順位通りの検討を実施できた。

2. 入居判定会議

回復期医療機関からの入居判定対象者が多い中で、医療的依存度が高い方の判定となるため、医療機関からの診療情報提供書を参照しながら、担当医師から直接状況の確認を行いながらの資料作成とした。

3. 医療的ケア安全対策委員会

認定特定行為業務従事者登録を行った介護職員が、看護師の指導にて安全に医療的ケアが行えるよう、その仕組みや方法について検討した。

4. 衛生管理委員会

産業医の指導の下、入居者様や職員の健康管理について検討を行った。施設内巡視の内容を見直し、巡視結果を評価（採点）することで、問題点を顕在化させ職場環境の改善に努めることができた。

5. 感染症対策委員会 12回

6. 防災委員会 12回

7. 苦情対策委員会 12回

8. 事故・身体拘束防止委員会

委員会では、それぞれの事故についての原因究明と再発防止に努め、全職員が統一した認識を持って事故防止に取り組めるよう、施設内で起きた全ての事例を、全ての部署で確認できるようにした。

9. 栄養管理委員会 12回

10. 行事委員会

新型コロナウイルス感染症対策として、「八瀬の里まつり」やボランティアによる行事は中止とし、「敬老会」は、各階にて表彰式を実施した。

11. 褥瘡対策委員会

現在褥瘡が発症している方の状態報告と、褥瘡になる可能性がある方について、看護師と栄養士、介護職と協同して改善策を検討した。

12. 排泄委員会

排泄習慣の確認や排便状況の情報収集を行った。おむつ使用量の減少や、摂取水分量の増加、下剤使用量の減少など、一定の成果が見られた。オムツ対応だった方をトイレに誘導する機会も増えている。陰部洗浄も積極的に行った。より良い排泄介助、より良い介護の提供へと取り組んでいく。

13. 看取り介護委員会

看取り介護委員会を通じて、各フロアでの看取り介護の振り返りが共有できるようになった。研修に於いては、看取り介護対象者の担当者による事例発表や、リモートによる外部研修を今年度も取り入れた。

〈令和4年度 看取り介護：5名〉

14. 研修委員会 新型コロナウイルス感染防止のため中止

〔2〕研修

1. 外部研修

研修日	研 修 名	参加人数
5月27日	安全運転管理者等講習	1名
7月4日	介護施設における安全対策担当者育成研修	1名
10月5日	福祉施設関係者感染症予防研修会	29名
2月13日	健康保険委員研修会	1名
合計		32名

2. 内部研修

研修日	研 修 内 容	参加人数
7月18日	看取り介護職員研修 (R4. 7. 18 ~ R4. 9. 30)	69名
10月12日	看取り介護職員研修 (R4. 10. 12 ~ R5. 2. 28)	52名
7月22日	オムツ勉強会 (ユニ・チャーム株式会社)	21名
7月26日	オムツ勉強会 (ユニ・チャーム株式会社)	10名
合計		152名

〔2〕年間行事

月 日	行事名	行事内容
4月上旬	お花見	施設周辺を散歩し写真に収めた。
6月1日 6月3日 6月9日 6月10日	収穫祭 (梅狩り)	施設周辺のゴルフコース内にて、職員が枝をおさえて入居者様に梅を収穫して頂いた。普段静かな方からも歓声や笑顔が見られた。梅狩りだけでなく水分補給や花摘みの様子も写真に収めた。
9月10日	敬老会	コロナ禍の為、フロアごとに敬老会を開催し、その様子をDVDと近況の手紙を添えてご家族に送付し喜んで頂いた。
9月19日	敬老祝い表彰	敬老祝いの表彰授与式を1階玄関にて行い、ご家族に窓越しでご覧頂いた。ご家族との写真撮影も行え、大変喜んで頂いた。
10月18日 10月25日 10月28日	屋台レク	八瀬の里祭りの代わりとしてフロアごとでの屋台レクを企画した。模擬店を開催し、賑やかなお祭り気分を味わって頂いた。
12月13日 12月19日 12月20日	クリスマス会	フロアごとにクリスマス会を企画(職員と入居者様と一緒に歌や踊り・サンタからのプレゼント・パンケーキを調理)し入居者様に楽しんで頂いた

〔4〕アクティビティ

各ユニットで企画された、季節に応じたアクティビティが、下記の通りに実施された。

表 1. 実施アクティビティ一覧（部署別）

デイサービス

4月	5日	お誕生日会	(ロールケーキ)
	7日	おやつレク	(あんみつ)
	11日	おやつレク	(さくらもち)
	15日	おやつ喫茶	
	27日	おやつレク	(バナナパフェ)
5月	11日	おやつレク	(あんみつ)
	12日	お誕生日会	(ロールケーキ)
	13日	お誕生日会	(プリンアラモード)
	16日	おやつ喫茶	
	24日	おやつレク	(餃子の皮ピザ)
	26日	おやつレク	(餃子の皮アップルパイ)
6月	2日	お誕生日会	(ロールケーキ)
	10日	お誕生日会	(プリンアラモード)
	14日	おやつレク	(白玉きなこ)
	22日	おやつレク	(ホットケーキ)
	23日	おやつ喫茶	
	27日	おやつレク	(あんみつ)
7月	6日	お誕生日会	(ロールケーキ)
	14日	おやつレク	(白玉みたらし)
	18日	おやつ喫茶	
	20日	おやつレク	(白玉抹茶)
	21日	お誕生日会	(プリンアラモード)
	29日	おやつレク	(あんみつ)
8月	9日	おやつレク	(チョコバナナ)
	11日	お誕生日会	(ロールケーキ)
	19日	おやつレク	(かき氷)
	22日	おやつレク	(あんみつ)
	24日	おやつ喫茶	
	26日	おやつレク	(あんみつ)
9月	2日	おやつ喫茶	
	5日	お誕生日会	(プリンアラモード)
	14日	おやつレク	(梅が枝餅)
	21日	お誕生日会	(ロールケーキ)

	22日	おやつレク	(チョコバナナパフェ)
	27日	おやつレク	(お好み焼き)
10月	13日	お誕生日会	(ロールケーキ)
	18日	おやつ喫茶	
	19日	お誕生日会	(ロールケーキ)
	21日	おやつレク	(ふかし芋)
	24日	おやつレク	(あんみつ)
	27日	おやつレク	(みたらし団子)
11月	2日	おやつレク	(白玉団子抹茶)
	7日	おやつレク	(ホットケーキ)
	10日	お誕生日会	(ロールケーキ)
	14日	お誕生日会	(ロールケーキ)
	17日	おやつ喫茶	
	29日	おやつレク	(クリームあんみつ)
12月	9日	おやつレク	(チョコバナナパフェ)
	12日	お誕生日会	(ロールケーキ)
	14日	おやつレク	(クリームあんみつ)
	15日	おやつレク	(かぼちゃのごま団子)
	19日	おやつ喫茶	
	20日	おやつレク	(クリスマスケーキ)
1月	5日	お誕生日会	(ロールケーキ)
	16日	おやつレク	(おしるこ)
	20日	お誕生日会	(ロールケーキ)
	24日	おやつレク	(ホットケーキ)
	25日	おやつ喫茶	
	27日	おやつレク	(あんみつ)
2月	1日	おやつレク	(チョコバナナパフェ)
	7日	お誕生日会	(ロールケーキ)
	9日	おやつレク	(おはぎ)
	14日	おやつレク	(チョコクレープ)
	17日	おやつ喫茶	
	20日	お誕生日会	(ロールケーキ)
3月	7日	おやつ喫茶	
	13日	おやつレク	(じゃがバター)
	14日	お誕生日会	(ロールケーキ)
	23日	おやつレク	(五平もち)
	24日	お誕生日会	(ロールケーキ)

	31日	おやつレク	(あんみつ)
--	-----	-------	--------

特養2階

4月	6日	ふじぶこう	食事レク	(寿司購入)
5月	15日	ぶこう	おやつレク	(パフェ)
	18日	ふじぶこう	食事レク	(おにぎり)
6月	15日	ふじぶこう	食事レク	(おいなりさん&豚汁)
	28日	あかぎにっこう	おやつレク	(酒まんじゅう)
7月	20日	フロア	おやつレク	(かき氷)
	26日	フロア	おやつレク	(アイス)
8月	17日	ふじぶこう	おやつレク	(ホットケーキ)
	31日	あかぎ	おやつレク	(おしるこ)
9月	14日	ふじぶこう	食事レク	(ちらし寿司)
	16日	あかぎにっこう	おやつレク	(あんみつ)
	17日	フロア	おやつレク	(駄菓子)
10月	12日	ふじ	おやつレク	(コーヒーゼリー)
	25日	フロア	食事レク	(屋台)
	30日	あかぎ	おやつレク	(ロールケーキ)
11月	16日	ぶこう	おやつレク	(パン)
	17日	あかぎにっこう	おやつレク	(酒まんじゅう)
	20日	ふじ	食事レク	(牛丼)
12月	20日	フロア	レク	(クリスマス)
	20日	ふじぶこう	食事レク	(寿司購入)
1月	18日	ふじぶこう	おやつレク	(チョコケーキ)
2月	18日	ふじあかぎ	おやつレク	(どら焼き)
	21日	にっこう	おやつレク	(プリンアラモード)
3月	16日	ふじぶこう	食事レク	(寿司購入)
	17日	あかぎにっこう	おやつレク	(ホールケーキ)

特養3階

4月	15日	あかぎにっこう	食事レク	(寿司購入)
	19日	ふじぶこう	おやつレク	(ホールケーキ)
	22日	あかぎにっこう	おやつレク	(あんみつ)
5月	16日	あかぎにっこう	食事レク	(ちらし寿司&うどん)
	24日	ふじぶこう	食事レク	(寿司購入)
	25日	あかぎにっこう	おやつレク	(ホールケーキ)
6月	10日	あかぎにっこう	おやつレク	(ホールケーキ)

	15日	あかぎにっこう	食事レク	(お好み焼&焼うどん)
	30日	あかぎにっこう	食事レク	(トースト&シチュー)
7月	21日	ふじぶこう	おやつレク	(ホールケーキ)
8月	22日	フロア	おやつレク	(かき氷)
9月	12日	あかぎにっこう	食事レク	(ちらし寿司&大根サラダ)
	22日	ふじぶこう	おやつレク	(あんみつ)
10月	28日	フロア	食事レク	(屋台)
11月	19日	ふじぶこう	おやつレク	(ホールケーキ)
	28日	あかぎにっこう	食事レク	(お好み焼)
12月	6日	あかぎにっこう	食事レク	(おにぎり・すいとん汁)
	14日	あかぎにっこう	おやつレク	(ホールケーキ)
	19日	フロア	レク	(クリスマス)
1月	16日	あかぎにっこう	おやつレク	(プリンアラモード)
	24日	あかぎにっこう	食事レク	(おにぎり・すいとん汁)
	26日	ふじぶこう	おやつレク	(ホールケーキ)
	30日	あかぎにっこう	食事レク	(お好み焼き&焼きそば)

特養4階

4月	12日	ふじぶこう	食事レク	(フレンチトースト&サンドイッチ)
	23日	あかぎにっこう	おやつレク	(プリンアラモード)
5月	18日	ふじぶこう	食事レク	(手巻き寿司)
	20日	あかぎにっこう	食事レク	(寿司購入)
6月	14日	ふじぶこう	おやつレク	(駄菓子)
7月	13日	ふじぶこう	食事レク	(冷やし中華)
8月	21日	ふじぶこう	おやつレク	(ミスド)
	22日	あかぎにっこう	おやつレク	(すいか)
	26日	フロア	おやつレク	(かき氷)
9月	27日	ふじぶこう	おやつレク	(プリンアラモード)
	28日	あかぎにっこう	おやつレク	(プリンアラモード)
10月	18日	フロア	食事レク	(屋台)
	25日	あかぎにっこう	おやつレク	(プリンアラモード)
11月	22日	ふじぶこう	おやつレク	(白玉しるこ)
	25日	あかぎにっこう	おやつレク	(プリンアラモード)
12月	25日	フロア	レク	(クリスマス)
	25日	フロア	おやつレク	(パンケーキ・フルーチェ)
1月	26日	ふじぶこう	おやつレク	(プリンアラモード)
	27日	あかぎにっこう	おやつレク	(プリンアラモード)

2月	22日	ふじぶこう	食事レク	(フレンチトースト&サンドイッチ)
3月	22日	ふじぶこう	食事レク	(たこ焼き)
	31日	あかぎにっこう	食事レク	(ちらし寿司)

〔5〕実習・見学等

1. 実習・見学等受入

新型コロナウイルス感染拡大の伴い、実習、見学等受け入れは自粛とした。

2. 一般の見学

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、昨年同様に一般見学全般を自粛とした。

〔6〕ボランティア

新型コロナウイルス感染症対策として今年度も受け入れを中止した。

〔7〕医務室

主任 轟木まり子

『健康管理』に伴う基本方針に基づき、入居者様および利用者様に対し健康管理および医療処置を実施する。

「健康管理」に伴う基本方針

- ・ 入居者様の生活に障害となる疾病や症状の、健康面からの管理
- ・ 入居者様の快適な生活をサポート
- ・ 他の職種間との協働で健康管理サービスを提供
- ・ 入居者様の意思を尊重し、入居者の健康管理サービス（医療処置）の提供

1. 予防医療

ア. 入居者様の健康状態の把握

嘱託医による回診を月1回実施。

イ. 医療機関および医師による検診の実施

(1) 健康診断の実施

入居者の新型コロナウイルス感染対応となり、帯津三敬病院の健康診断を見合わせとなった

ウ. 流行性疾患蔓延の予防

(1) インフルエンザ予防接種の実施：令和4年11月4日 入居者：84名

(2) 新型コロナウイルスワクチン接種の実施

エ. 感染の予防

(1) インフルエンザ、ノロウイルスの流行期

→職員全員マスク着用・検温を実施

職員、入居者に感染症が疑われる場合は

→職員玄関に感染状況を掲示し、職員へ周知
入居者の早期居室対応、病院受診

(2) 疥癬

→発症フロアの職員エプロン・手袋を使用
感染症が疑われる入居者、職員は病院受診
感染陽性→定期的に皮膚科受診（陽性者：4名）
感染者に居室対応、入居者・職員の衣類等は感染症対応の洗濯で実施
感染者の居室・フロアの消毒、清掃
職員玄関に感染状況を掲示し、職員へ周知

(3) 感染症対策委員会を定期的を開催し、情報を共有

オ. 新型コロナウイルスワクチン感染者対応

(1) 発熱者の受診対応 PCR 検査陽性：入居者 28 名（入院：2 名）

→入居ユニットのレッドゾーン対応を開始

レッドゾーン対応職員は防護服・フェイスシールド着用、レッドゾーンは
ベランダからの出入りを実施

職員全員マスク・フェイスシールド着用（ダブルマスク）・検温を実施
至聖病院医師へ新規発熱者・感染者の発熱状況報告
必要時、至聖病院医師指示による点滴実施

(2) 保健所・至聖病院指示による、PCR 検査の実施

(3) 感染者状態悪化時は至聖病院へ連絡し受診

(4) 保健所指示による、感染者ゾーニング解除対応

(5) 職員玄関に感染状況を掲示し、職員へ周知

2. 治療医療

ア. 的確な症状の把握

(1) 介護職員の報告を把握し、バイタルサインの確認、異常症状発生以前からの状態の確認と変化した全身の状態の観察

(2) 医療機関およびご家族等からの情報は、施設内での情報共有

(3) 必要時に医療機関を受診、定期受診を継続

イ. 症状に適した処置の実施

(1) 症状に応じた対症療法を指示または実施

(2) 配置医の指示を受け、入居者の処置を実施

(3) 医療処置の経管栄養・吸引・外科的・皮膚科的・泌尿器科的処置、湿布、点眼を実施

ウ. 内服治療への援助

(1) 配置医による定時薬、臨時薬の服薬継続の確認（定期回診）

(2) 臨時薬が処方された際は内容、内服方法を介護職へ説明

(3) 入居者様の状態に応じて、錠剤を粉薬へ調整

エ. 褥瘡の予防

(1) 毎月、第二金曜日に褥瘡予防対策委員会を開催

- ① 褥瘡発生者、予防者について清潔・栄養・除圧の側面から評価し必要なケアを検討
- ② 褥瘡発生者は医師の診察・処置対応し、褥瘡状態を他職種と共有
- ③ 褥瘡予防者の皮膚の経過観察

3. 入居者の意思を尊重した健康管理サービスの提供

- ・入居後の健康状態の変化に合わせ、リビングウィルを確認
- ・入居者、ご家族に確認後、受診・治療・ケア援助

4. 看取り介護への取り組み

ア. 看取りの時期について配置医のからの判断を受ける

ご家族が理解されているか相談員、介護職、介護支援専門員と確認
入居者およびご家族の死に関する要望を確認

イ. 入居者の状態変化の際はご家族への報告

ウ. 入居者の夜間急変時に、看護師は 24 時間のオンコール体制で対応

エ. 提携病院と受け入れの調整

5. 均一な医療サービスの提供

ア. 毎朝の申し送りとカンファレンスを随時実施し、入所者様の状態把握や情報を業務内で共有

イ. 実施した医療処置、健康状態、受診結果について記録（ケース入力） 緊急時に適切な対応、関係部署との連携

6. 災害・非常時への準備

ア. 災害・非常時用保管場所（3 階エレベーター前倉庫）に応急処置用品の保管

イ. 非常時持ち出し品一覧表を確認、全職員に周知

ウ. 応急処置物品は消費期限があるため、数量の検討と物品を見直し

〔8〕 栄養科

管理栄養士 主任 山田みゆき

重点目標として、1. 「食べる喜びを、生きる喜びへ」 2. 「個人への最適な栄養ケア」 3. 「安全安心な食事提供」の三点を挙げ活動を行なった。

1. 「食べる喜びを、生きる喜びへ」

通常の食事では、入居者様個人に合わせた形態での提供を引き続き行った。イベント食については、季節に合わせた行事食提供に加えて郷土料理を定期的に提供し楽しんでいただいた。八瀬の里まつりの代わりにイベントである屋台レクは、

昨年度に引き続き各フロアで実施した。昨年同様、各フロアそれぞれで工夫を凝らし、入居者様と共に職員も楽しみながら実施することができた。定期的に実施されているユニットレクについては、サイボウズを活用した情報発信を継続して行うことができた。

2. 「個人への最適な栄養ケア」

入居者様全員を対象とし栄養ケア計画書の作成を行なった。栄養スクリーニングを行いアセスメントを実施すると共に、リスク別のモニタリングを実施しながら3か月ごとの評価を基にプランの確認や変更を行った。低体重や体重が減少傾向にある方、食事摂取不良や体調不良の方への対応としては、栄養ケアカンファレンスを行うことで各部署と情報を共有し、補食や嗜好・嚥下機能に合った食事を検討することができた。また経管で栄養補給を行っている入居者様に対して、お楽しみ程度の経口摂取を慎重に実施しご希望に沿ったケアができた。

3. 「安全安心な食事提供」

昨年度に引き続き、感染症を含めた災害に備えるため、八瀬の里 BCP に基づき非常食の管理を徹底して行った。委託業者との間では平常時の対応に加え感染症発生時のルールを共有していたため、11月～12月の新型コロナウイルス感染症発生時における弁当箱配膳を安全に終えることが出来た。課題の一つであった汁物の提供についても混乱なく提供することができた。今後については、感染症法における新型コロナウイルス感染症の位置づけが変更となったため、八瀬の里においても感染症発生時の食事提供ルールが見直されることとなる。委託業者含めた各所と連携を図り、有事に備えられるよう準備をしたい。

〔9〕特別養護老人ホーム

生活相談員 遠藤孝治

1. 在籍

3月31日の在籍者は95人となっている。

次に入居して頂く対象者へは、当施設「優先入居に係わる取扱規定」による優先順位に基づき、入居順位検討結果を検討委員会実施月の月末又は翌月月初に送付している。

新規申込者の傾向として、胃婁増設・インスリン自己注射管理の申込が増加傾向であり、入居理由が「在宅独居・高齢世帯」等による老々介護が目立っており、主介護者不在による在宅復帰は難しい。

表 1. 令和 4 年度入居者男女比率（令和 5 年 3 月 31 日現在）

	令和 3 年度		令和 4 年度	
	人数	割合	人数	割合
男性	33 名	33%	30 名	32%
女性	62 名	67%	65 名	68%
合計	95 名	100%	95 名	100%

2. 退 居

表 2 に示すように、令和 4 年度の退居者は 17 名であった。

表 2. 令和 4 年度退居者一覧

年 月	退居者数	退居理由
令和 4 年 5 月	1 名	療養型 1 名
7 月	2 名	療養型 1 名 死亡 1 名（看取り）
8 月	2 名	死亡 2 名（病院）
11 月	6 名	死亡 4 名（病院 2 名・看取り 2 名） 転院 1 名 療養型 1 名
12 月	2 名	療養型 2 名
令和 5 年 1 月	1 名	死亡 1 名（病院）
2 月	1 名	死亡 1 名（看取り）
3 月	2 名	死亡 1 名（看取り） 転院 1 名
合計	17 名	死亡 10 名（病院 3 名、看取り 7 名） 療養 5 名 転院 2 名

表 3. 年度別退居者数の推移（人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
令 4	0	1	0	2	2	0	0	6	2	1	1	2	17
令 3	1	1	1	3	4	5	4	5	4	2	3	4	37

※施設看取り 7 名

3. 新規入居

表 4 に示す通り、新規入居者様は 21 名、在宅 12 名、医療機関 8 名、介護福祉施設 1 名となっている。

表 4. 令和 3 年度新規入居者一覧

年 月	新規入居者数	入居前の居所
令和 4 年 4 月	2 名	医療機関 2 名
5 月	2 名	在宅 1 名 医療機関 1 名
6 月	1 名	介護福祉施設 1 名
7 月	1 名	在宅 1 名
8 月	1 名	医療機関 1 名
9 月	2 名	在宅 1 名 医療機関 1 名

10月	1名	在宅1名
11月	2名	在宅1名 医療機関1名
12月	4名	在宅3名 医療機関1名
令和5年1月	2名	在宅2名
2月	0名	
3月	3名	在宅3名
合計	21名	

表5. 新規入居者の介護度と男女構成比

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
入居者(人)	1	0	9	8	3
女性	1	0	7	6	2
男性	0	0	2	2	1

表6. 年度別新規入居者数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令3	5	3	3	2	0	3	7	4	6	1	5	1	40
令4	2	2	1	1	1	2	1	2	4	2	0	3	21

4. 入居申込みと待機者状況

令和4年4月から令和5年3月の間の新規申込は81件であった。医療機関からの入居依頼は前年度よりも微増しているものの、在宅からの申し込みも昨年よりも13件増えている。理由としては、同居家族の高齢化及び長期入院明けでの医療依存度増加に伴う介護負担が、同居家族に精神的にも身体的にも増えている事が主な理由となっている。

5. 入院実績の推移

世間一般での新型コロナウイルス感染による協力医療機関での病棟逼迫に伴い、施設入居者の入院減少。外来受診に関しても、昨年度同様に発熱外来を受診しての一般受診となり、外来待ち時間は増加傾向にある。

6. 要介護度推移

表9の通り、今年度一年間の介護度は、平均介護度3.8となっている。

表 9. 要介護度の推移（令和 4 年度平均介護度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
介 1 (人)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
介 2 (人)	1	1	1									
介 3 (人)	35	36	37	38	35	34	33	35	36	34	33	33
介 4 (人)	41	42	42	42	44	41	42	42	37	37	37	37
介 5 (人)	15	15	14	15	15	19	20	20	22	24	24	24
令 4 平均介護度	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9
令 3 平均介護度	3.9	3.9	3.6	3.8	3.8	3.9	3.8	3.7	3.8	3.8	3.7	3.7

7. 平均年齢推移

入居者平均年齢 86.7 歳（男性：86.4 歳、女性：89.1 歳）

表 10. 平均年齢の推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
女 性	88.95	89.05	89.38	89.59	89.87	90.16	90.10	90.07	90.18	89.88	89.89	89.84
男 性	82.30	81.47	81.29	79.71	79.79	79.88	79.79	79.04	79.13	79.21	79.75	79.26
令 4 年度 全 体	86.83	86.64	86.84	86.88	86.87	86.97	87.29	86.95	86.88	86.58	86.77	86.47
令 3 年度 全 体	87.53	87.57	87.59	87.61	87.68	87.64	87.34	87.16	87.06	87.08	86.76	86.47

8. 収入段階、利用料

収入段階による利用料は、第 2, 3 段階が 43 となっている。女性の新規入居者様の第 3 段階人数が微増。第 2 段階が大きく減少している。

	令和 3 年度末		令和 4 年度末	
	人数	構成比率 (%)	人数	構成比率 (%)
収入段階				
第 1 段階	0	0	0	0
第 2 段階	14	15	7	7
第 3 段階	41	43	36	38
第 4 段階	40	42	52	55
合 計	95	100	95	100

9. 外出

観桜、梅狩り、近隣の散歩を実施。飲食店や、繁華街への外出は未実施。

10. 外泊

今年度は新型コロナウイルス感染症対策にてご家族へ自粛を要請し実績なし。

11. 面会

厚生労働省主導の下、看取り対象者及び窓越し面会を実施。

※対面式面会については、新型コロナウイルス感染規模縮小の兆しあるまでは自粛継続とした。

1 2. 生活相談員の業務を振り返って

令和 4 年度当初も、新型コロナウイルス感染状況に大きな変化もなく過ぎ、昨年末より感染者統計が 65 歳以上及び重度基礎疾患患者のみ公表となり、高齢者福祉施設での感染症対策について類推しながら実施する事となった。

世間一般（一部入居者家族含む）との、高齢者福祉施設での考えに乖離があり、高齢者福祉施設における相談員の負担が大きく増えている。

1 3. その他

(1) 居室の有効利用

ショートステイ長期利用の方の空床利用を行った。

(2) ご家族への連絡

窓越し面会及び電話での連絡が主であった。看取り対象の家族へは、適宜相談連絡を実施した。

(3) 新型コロナウイルスワクチン

ご家族へ事前同意書及び説明書を送付し、接種準備を行った。

1 4. 介護支援専門員の業務を振り返って

介護支援専門員 黛 裕子

(1) ケアプラン・カンファレンス・モニタリング

コロナ感染症対策によりカンファレンスが開催できない時期があった。その際は内線にて各専門職それぞれに意見を述べてもらい、入居者一人ひとりに対し個別性のあるケアプラン作成を行った。

看取りの振り返りカンファレンスに於いては、回を重ねる毎に良い振り返りができてきて次回に生かせるようになってきた。フロア職員全体による意見と多職種との振り返りカンファレンスを行う事ができた。

作成したケアプランの情報を共有し、職員全体でモニタリングを行った。

(2) 看取り介護

今年度は、在宅酸素使用中で入居時より状態が芳しくなく、入居と同時に看取り介護が開始されるなど、医療機関からの退院期限を迫られた医療依存度の高い方も受け入れていった。

毎月の看取り介護のケアプラン会議では、多職種の意見を「サービス担当者会議の要点」に記録し、家族へ配布し状況報告に努めた。

(3) 家族への支援

コロナ禍での家族との面会は、リモートや窓越し面会などで対応し、日々の様子を電話連絡や計画書を見て頂くことで、家族との情報共有に努めた。

15. 介護

2階

主任 渡辺理恵

【入居様が安心できる生活の場の提供】

- ・入居様が安全・快適な生活を送って頂ける様、ユニットリーダーがユニット会議を開いたり、日頃から職員同士の話し合いの場を作る事で職員が1人1人が入居者様と真剣に向き合い、統一した対応に努めた。今後も、職員同士で納得いくまで話しあい入居様が安心できる生活を送って頂ける様に努力していく。
- ・レクリエーション活動においては新型コロナウイルスの状況を踏まえ感染防止に配慮した上で各入居者様の誕生日や季節に応じてはま寿司や職員が購入したりし食事・おやつレクが実施する。また10月は屋台レクを実施した。外出ができないストレスもあったが施設内で行う事により入居者様も喜んで頂けた。今後も感染防止に配慮した上で季節に応じた内容で毎月実施していきたい。

【入居者の安全を確保する】

- ・事故防止においては、気づきメモなど活用し情報の共有をしながら対応を考え事故を未然に防げるように努力した。またHitomeQを活用しながら入居者の行動を把握し事故防止に努めて行ったが骨折事故が2件発生した。今後も入居者のADLの状況を常に把握し、未然に防げる様にユニット会議や職員同士の話し合いの場を作り未然に防げる様に対策をし対応していく。またHitomeQのlive映像を活用し居室内の転倒事故を発生件数減少を目指していく。事故が起きた際はHitomeQのlive映像を確認し再発防止に努めていく。

【感染対策・環境整備】

- ・新型コロナウイルス状況を踏まえ、うがい・手洗い・手指消毒(職員・入居者様)・触れる場所の消毒・マスク着用(職員・入居者様)・換気に努めた。また他の階で新型コロナウイルス発症時には初動確保にあたった。疥癬については3件発生してしまったが介護職員、看護師との連携でゾーニングと感染対策を徹底する事でそれ以上は拡散する事は無かった。今後も居室内の清掃、入居者様の日々の観察を小まめにし感染予防に努めていく。

【人材の育成について】

- ・新人職員、中堅職員の育成については統一した対応ができるようにユニットリーダーが各ユニットマニュアルを作成し職員1人1人が身に付け入居者の援助できるように行った。また介護技術が高まるように職員同士で話し合う、実践するなどして成果、評価をして納得いくようにした。今後も主任・リーダーが中心となり目標を立て評価しながら充実感が得られるように目指していく。

【コスト削減について】

- ・施設内の無理・ムラ・無駄を無くすように職員が意識し入居者様の個々にあった排泄時間、パッドの種類を検討する、不要な電気を消す、コピーする際は裏紙を活用するなど削減に努めた。今後も無理・ムラ・無駄を無くすように職員で意識してコスト削減に努めていく。

(1) 身体ケア

入居者様の体調管理においては、特に新型コロナウイルス対策に重点を置き、前年度(一月中旬から二月中旬にかけて発生)の経験を十分に活かし、迅速な隔離対応、適切な个人防护具の着用、手指消毒を含む消毒作業の徹底強化に努めた。また、職員においても体調が思わしく無い場合、PCR検査、抗原検査等の感染症診断、無理な出勤を控える等の自宅療養に努める事で職場内への感染を未然に防ぐ事が出来た。今後、新型コロナウイルスが二類相当から五類への引き下げ移行となる中、外部との接触が増えていく事が想定されるが、職員においては、高齢者施設に携わる者として、一人一人がより一層の危機意識を持ち、三密の回避(密閉、密集、密接)、自己管理(手洗い、うがい、検温、マスク着用)等、施設内に限らず、家庭内においても最大限に万全を期し、入居者様、職員、家族の生命の安全確保に努めていく。

(2) 精神的ケア

新型コロナウイルス感染対策に伴い、外出の自粛、窓越し面会、リモート面会等、ご家族とも満足のいく面会が出来ず、不安、ストレスを抱える中、入居者様に楽しみのある日常生活を送って頂く為、食に重点を置いたレクリエーションを積極的に開催し、大変喜ばれる様子が見られた。食事レクにおいては、宅配サービスの利用、おやつレクにおいては、新たなメニューの提供、また、八瀬の里祭りの中止に伴う代替としてのお祭りバイキング、クリスマス会の開催等、より楽しみの機会を増やす事が出来た。今後も入居者様の意向をしっかりと汲み取り、また入居者様が出来る限り一緒に企画参加していく事で、より良い支援へと繋げていく。

(3) 環境整備

環境整備においては、新型コロナウイルス感染対策に伴い、手すり、ドアノブ等を含め、接触頻度の高い箇所を今まで以上に重点的、且つ丁寧な消毒作業に努める事が出来た。今後も職員一人一人が危機感を持って取り組んでいく。また、汚れの目立つ箇所としてご指摘のあった機械浴室、特に排水溝の清掃において不十分であった為、引き続き清掃計画に組み入れ実施し、しっかりと清潔保持に努めていく。その他、綺麗な職場で気持ち良く仕事をし、業務効率を上げる為、3S(整理、整頓、清掃)の徹底にも努めていく。

(4) コスト管理

日々使用する消耗品に着目し、発注する数、品目、金額等を意識し、徹底的に在庫管理に努める事でコスト削減に繋がった。ただし、職員全体でのコスト意識においては、不十分であると考えており、今後は、しっかりと職員間で共通認識を持ち、実践していく必要がある。また、その他、オムツ、光熱費等のあらゆる費用の高騰が想定される中、より高い設定目標を掲げ、常に改善を図りながらコスト削減に取り組んでいく。

(5) その他

入居者様の生活支援に取り組んでいく中、接遇(言葉遣い、身体介助等も含む)

においては、ご家族、外部の方々より常に評価されていると言う認識が薄れ、雑な対応となる事が見受けられた。今一度、現状を真摯に受け止め、見つめ直し、改めて行く必要がある。その他、入居者様の身体状況の変化、職員の退職等も重なり、厳しい勤務体制が続く中、職員一人一人がお互いを思いやり、助け合いながら業務に取り組む事が出来た。しかし、現状は、職員の身体的、精神的負担は、増大しており、限界近くの業務となっている。今後もこれ以上の退職者を出さない為、新入職員の定着、効果的な勤務表作成、休日取得、残業時間の分散等を図りながら働き続けられる、健康に優しい職場環境の構築に努める。

4階

主任 大石健太郎

【基本方針について】

入居者様が安全、快適な生活を送って頂けるよう、職員間で連携を密にし、迅速な対応を心がけました。また、ご家族のご要望、ご相談においてもコロナ禍である為、制限はありましたが出来る限り対応させて頂き、入居者様の充実した生活を支援させて頂くよう努めることが出来たと思います。

事故防止におきましては、ヒヤリハット報告書、ヒトメクのLive映像などを活用し、事故を未然に防ぐ事を目標に取り組みましたが、居室内やフロア内での転倒による骨折事故を起こしてしまい、服薬に関しましても『落薬事故』を起こしてしまいました。

入居者様の健康管理におきましては、感染症を未然に防ぐ事を目標にしておりましたが、令和4年11月に4階フロアで入居者様、介護職員共に新型コロナウイルスの感染、拡大を引き起こしてしまいました。

感染の速さ、威力を痛感すると共に、非常事態下での職員の配置、感染防止対策の実行の難しさを実感しました。この経験を今後の非常事態の発生時、感染症の発症時等、緊急時の対策、対応が必要な時に役立てていきたいと思っております。

新型コロナウイルスの感染収束後は、定期的なPCR検査、抗原検査を行い、感染予防に努めました。手洗い、消毒、うがい、検温、マスク着用、換気等、感染予防の基本を徹底して継続していきたいと思っております。

レクリエーションについても施設全体で行う『八瀬の里まつり』や『敬老会』等はフロア毎に蜜を避けるよう規模を縮小した『屋台レク』や『敬老の表彰』を行い、コロナ禍ではありましたが出来る範囲で立案、実施出来たと思っております。

八瀬の里BCPにおきましては、新型コロナウイルスの感染、拡大の対応の際に、初動の対応が如何に大切かを学びましたので、有事の際には、今回の経験をしっかりと活かしていきたいと思っております。

職場環境につきましては、『職員が常に互いに思いやり、協力し合える環境を構築していく。』『職員一人一人が現状に満足せず自分自身を高めていく。』『主任、ユニットリーダーは職員の教育、育成においても重点課題とする。』事を目標に取り組んでまいりました。

フロア内の職員間の関係は概ね良好で、時には入居者様のケアについて厳しく指摘をし合うこともありました。介護技術の向上の為に意見交換を行ったり、ユニット会議等で話し合い問題の解決を目指す事など出来ていたと思っております。

また主任、ユニットリーダーを中心に新人職員への指導(プリセプティブ制度)も出来る範囲でしっかりと行っていたと思っております。

【その他】

入居者様におかれましては令和4年度もコロナ禍で制限された空間、時間の中でお過ごし頂く事となってしまいました。

外出、外食、面会、交流など生活に関わるほぼ全ての事に制限がかかり、ストレスを抱えての生活をされていると思います。

日々の生活を少しでも快適にお過ごし頂くために、介護職員の『接遇』について見つめ直し、まずは、あいさつ、言葉使い、身だしなみ、気配り、思いやり、丁寧な対応などすぐに出来る事から改善を図っていきたいと思います。

新人職員の教育、中堅職員を育成していく上でも介護現場における知識、技術の取得、向上を目指し指導するだけでなく、しっかりとした『接遇』を身に付けてもらえるよう、主任、ユニットリーダーを中心に指導にあたっていきたいと思います。

〔10〕デイサービス

生活相談員 細田恵実

【安心・安全なデイサービスの運営】

感染予防対策を徹底しご利用者様、ご家族が安心して利用できるデイサービス作りを目標とした。

【個別援助の充実】

ご利用者様、ご家族の多彩なニーズに応え、アクティビティ及び各種体操、入浴に加え積極的な声掛けを実施、機能訓練士の指導の下、個別機能訓練の充実を図った。

【感染予防対策】

施設送迎時は利用者様のマスク着用、同居家族様の体調確認、乗車前の体温測定・手指消毒を行い感染拡大防止に努めた。

ご利用者様利用時には常にマスク着用をお願いし来所時は「うがい」・「手洗い」をして頂き、昼食前、間食前にはテーブルの消毒及び手指消毒を一人一人行い、利用中10時・14時・16時の体温測定等行った。利用者様帰宅後のサニタリー空間及びデイルーム、テーブル、椅子、手摺等アルコール消毒及び床面は次亜塩素消毒を毎日実践今後も引き続き行い感染予防対策に取り組む。

【登録者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年度	52	51	52	52	52	54	51	52	52	53	52	54
4年度	54	55	58	57	57	55	56	56	55	56	56	56

【一日平均利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3年度	20.1	20.7	20.4	22.5	23.3	22.5	23.3	21.6	21.7	21.2	20	19.7	21.5
4年度	22.2	22.3	21.7	21.9	18.8	18.6	19.8	18.4	18.9	18.9	19.2	18.9	19.9

※ロングショート利用者・ショート利用者多数あった。

※本人及び同居家族の風邪症状による欠席者多数あった。

※他施設での感染が確認され重複利用されている利用者様の欠席も目立っていた。
※感染の恐怖から外出を控える利用者様も多く長期お休みされる方もいた為利用人数は伸び悩んだ。特に7月以降オミクロン株の第7波、12月以降の第8波の影響で大幅修正を余儀なくされた。

〔11〕ショートステイ

生活相談員 発知昭仁

【事業報告】

・利用延べ日数：6,708日（前年7,991人：-1,283日）

→内訳：*空床利用延べ日数 595日

6,708日-(365日×18床)=138床

*退所延べ日数：632日

*平均要介護度：3.6(男3.8、女3.6)

*平均年齢：85.2歳（男84.57歳、女85.52歳）

・1日あたりの利用者数：18.37人/日（前年21.89人/日）

・特養での入院者数減で空床利用少なく前年より大幅減となる。

・新型コロナウイルス感染防止の徹底や発熱などの容態変化時に的確かつ迅速な対応ができた。当該感染症は発生せず蔓延することは無かった。引き続き、関係機関やご家族と協力・連携して感染防止を行なう。

・新型コロナウイルスの影響で、受入を一時中止した時期があった。受入再開後は、事業活動に大きな影響は無く、今後も柔軟な対応を行なう。ご利用者が安心、安全にご利用できるよう関係機関と連携・共有し適切な措置を講じていく。

〔12〕居宅介護支援事業所

管理者 大阪一恵

1. 事業稼働の年間目標 年間平均利用登録者数：33名以上

<令和4年12月21日～3月31日までの相談件数>

12月：西部診療所 在宅支援センター 1件

1月：3名 居宅介護支援事業所 介護の森から20名引継ぎの相談

2月：特養八瀬の里入所相談員1名

包括だいたう 2名

居宅介護支援事業所 介護の森 3名

3月：包括だいたう 1名 居宅介護支援事業所 介護の森から10件

令和4年12月21日～3月31日までの登録者数：6名

2. 認定調査委託業務における目標
令和4年12月21日～令和4年3月31日まで 川越市認定調査員研修未受講
川越市、他市町村からの認定調査の依頼なし
3. 法人内委員会活動における参加
ケアマネジメント業務を優先したため不参加

Lined writing area with horizontal dashed lines.

Lined writing area with horizontal dashed lines.

令和2年度 事業報告書

2023年（令和5年）6月1日 発行・印刷

監修・編集 社会福祉法人 芳清会

印刷・製本 社会福祉法人 芳清会

TEL 049-247-7311

FAX 049-247-7312

URL <http://www.houseikai-y.jp/>

E-mail yasenosato@houseikai-y.jp